

関係者各位

巴バルブ株式会社
国内営業本部

Tom Probe Connect (トムプローブコネクト) サービス提供開始のお知らせ

巴バルブ株式会社（本社 大阪市西区、代表取締役会長兼社長 山本晃敏）は、バルブの作動状態を現場で確認できる Tom Probe シリーズの新サービスとして、Web 上でバルブの作動状態をはじめとする、バルブの保守保全に関する情報を一括管理するクラウドサービスの提供を開始しました。

<背景>

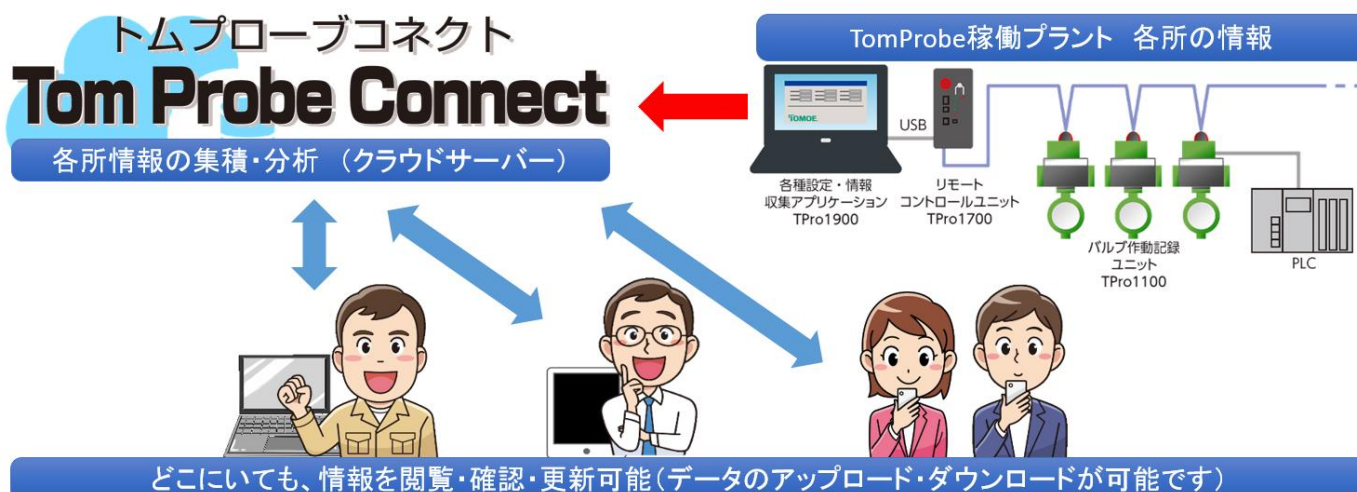
建設からの運転期間が 50 年を超える工場やプラントが増えるなか、経験豊富なベテラン従業員の定年退職等により、突発的なトラブルが発生した際、その影響範囲の特定や対応方針の決定に多大な時間をとられる場合が増えて参りました。そのため、生製品の品質や生産計画への影響を最小限に抑えるために、装置の故障を事前に検知し、バルブ交換等の予防措置策を講じる予防保全活動が、官民あがての重要事項になりつつあります。

当社は 2016 年にバルブの予防保全実現の第一歩として、バルブ作動状態の把握を目的とした、TomProbe シリーズを販売開始しました。その中で、これらのデータの自動収集及び閲覧、異常発生の素早い把握を関係者の間で行いたいという要望が出てまいりましたので、今回のサービス提供に至りました。

<サービスのコンセプト>

1. いつでもどこからでもバルブの作動状態を閲覧可能
2. Web サイト上で簡単にデータを閲覧・分析できるツールの提供
3. 異常状態を検知すると、管理者にメールですぐに通知
4. 保守保全に必要な、点検結果・メンテナンス・商談の各結果を一括管理
5. クラウドなので、自社内の設備投資不要・必要な期間だけ手軽に利用可能
6. バルブ専門メーカーである巴バルブからの、バルブ稼働状況月次レポートの提供

<サービス概要>



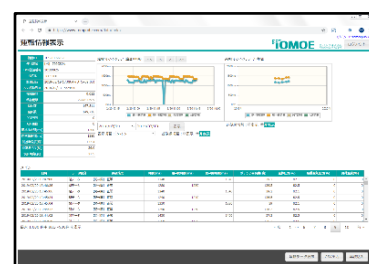
バルブ作動記録ユニット（TPro1100）が蓄積しているバルブ作動データを、情報収集アプリケーション（TPro1900）が自動収集。そのデータはTom Probe Connect クラウドサーバーにアップロード・蓄積されます。また、利用者はバルブの点検・メンテナンスの実施記録を登録するとともに、過去の実施記録を将来のメンテナンス計画の立案に活用する事ができます。

本サービスを利用することで、稼働データや保守に関する情報を関係者と容易に共有することができるように、バルブの予防保全及び保守に必要な情報を一括管理する事ができます。

<新サービスの特長>

◇ 運転状態閲覧

インターネット上にデータを蓄積しているため、いつ、どこにいてもバルブの状態を確認することができます。点検時には事務所や現場からでも過去の運転状態を確認するツールとして使用が可能です。また、遠く離れた場所にいるベテラン従業員とデータを共有し、バルブの運転状況についてアドバイスを受けるといった利用も可能です。



◇ メール通知

異常メール通知システムにより、バルブに異変が生じたことをすぐに認識することができます。そのため、人間が機器を常時監視する必要はありません。

【サーバーで異常を検出】



【利用者にメールで通知】

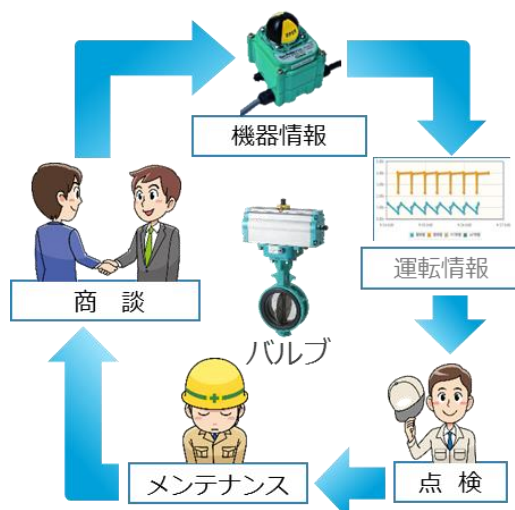


【状態 Check!】



◇ 保守情報一括管理

点検から補修パーツの手配、メンテナンスの実施など、製品のライフサイクルをサポートする一連の情報を管理する機能があります。本ツールの活用により、バルブ製品の運転保守・保全など関係者全員とコミュニケーション記録を残すことが可能です。



◇ クラウドで手軽に開始

クラウドサーバーなので、初期投資が少なく、サーバー管理も不要です。ソフトウェアの購入と違い、必要な期間のみ契約することで気軽に利用することができ、さらに Web アプリケーションはいつでも最新の機能を使用することができます。

◇ 月次レポート提供

監視対象となっているバルブについて、バルブ専門メーカーとしての知見を活かした稼動レポートを、1 契約につき月 1 通の提供いたします。

<今後の予定>

クラウドサーバーの状態分析プログラムのバージョンアップを継続的に行っていきます。それにより解析機能を向上させ、より高精度な診断が可能となる予定です。

<想定される分野>

地域熱供給、飲料・食品工場、上下水道施設、地域ポンプ場、学校プール（公共施設）、石油化学、ファインケミカル、発電所など

ご不明点がございましたら、弊社営業担当までご連絡願います。今後とも引き続き弊社製品をご愛顧賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

以上